



KS ケーズデンキ

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月6日

上場会社名 株式会社ケーズホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 8282 URL <https://www.ksdenki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平本 忠
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画本部長 (氏名) 鈴木 一義 TEL 029-215-9033
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	547,486	5.0	26,124	12.1	29,400	6.3	19,892	6.6
2019年3月期第3四半期	521,250	1.5	23,310	△5.8	27,666	△4.9	18,658	△6.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 19,952百万円 (7.5%) 2019年3月期第3四半期 18,557百万円 (△5.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	88.13	87.94
2019年3月期第3四半期	80.50	79.15

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	405,939	261,046	64.1	1,175.32
2019年3月期	410,156	255,782	62.1	1,118.75

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 260,177百万円 2019年3月期 254,701百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2020年3月期	—	15.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	713,000	3.5	34,000	3.9	39,600	2.8	24,600	3.3	108.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	235,463,121株	2019年3月期	235,463,121株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	14,095,202株	2019年3月期	7,795,946株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	225,720,317株	2019年3月期3Q	231,789,331株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足資料の入手方法について）

決算説明補足資料は、決算短信発表後、速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は緩やかな回復基調ではあるものの、消費税率引き上げ後の影響により不透明な状況で推移いたしました。

当社グループは、正しいことを確実に実行する「がんばらない(=無理をしない)」経営を標榜し、お客様に伝わる「本当の親切」を実行すべく、「現金値引」、「長期無料保証」、「あんしんパスポート」などお客様の立場に立ったサービスを提供し、引き続き家電専門店としてお客様の利便性を重視した地域密着の店舗展開、営業活動を行って参りました。

その一つとして、4月24日より、AndroidTV機能を搭載したテレビ向け当社公式アプリ「ケーズデンキ おうちでショッピング」の提供を開始し、ご自宅のテレビでチラシの閲覧や商品の購入を気軽に楽しめるようになりました。

また、上場企業としての社会的責任を果たすため、環境問題への取り組み、お取引先各社との良好な関係の継続、コンプライアンスの徹底、労働環境の改善、ワーク・ライフ・バランスの向上などさらなる企業価値の向上に努めて参りました。

その成果として、4月19日付で(公財)日本環境協会エコマーク事務局からケーズデンキ全店(FC店を除く)がエコマーク認定を受けました。さらに当社の取り組みが評価されて11月20日付でエコマークアワード2019の優秀賞を受賞いたしました。

経営成績につきましては、売上高は長梅雨や暖冬でエアコンや暖房商品が低迷したほか、10月の台風及び水害による店舗の休業・短縮営業が発生するなどのマイナス要因があった一方で、消費増税に伴う需要増加や10月以降も2020年1月14日のWindows7サポート終了に向けてのパソコンの買い替え、4Kテレビへの買い替え需要などのプラス要因があったことから全体として前年同期を上回る結果となりました。

利益面につきましては、引き続き高付加価値商品が販売され、当第3四半期累計期間では、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益とも前年同期を上回りました。

出退店状況につきましては、以下に記載のとおり直営店13店を開設し、直営店6店を閉鎖して店舗網の強化・経営の効率化を図って参りました。これらにより、2019年12月末の店舗数は505店(直営店501店、FC店4店)となりました(そのほかに携帯電話専門店があります)。

◆出退店状況

所在地	出店	退店
北海道	帯広音更店(11月)	岩見沢店(8月)
岩手県	北上店(4月)	
福島県	いわき鹿島店(7月)	小名浜店(7月)
埼玉県		新座店(10月)
千葉県	松戸八柱店(4月)	柏店(9月) 千葉みつわ台店(10月)
東京都	イオンタウン稲城長沼店(12月)	
新潟県	笹口店(4月)	
愛知県	刈谷店(4月)	
大阪府	アクロスプラザ八尾店(4月) カナートモール和泉府中店(4月)	
兵庫県	尼崎浜田店(11月)	ジェームス山店(4月)
福岡県	水巻店(10月)	
熊本県	嘉島店(4月)	
宮崎県	延岡店(5月)	

以上の結果、売上高は5,474億86百万円(前年同期比105.0%)、営業利益は261億24百万円(前年同期比112.1%)、経常利益は294億円(前年同期比106.3%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は198億92百万円(前年同期比106.6%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末比42億16百万円減少して4,059億39百万円となりました。

主な要因は、流動資産が22億57百万円減少して1,885億64百万円になりました。これは、自己株式取得のための預託金等によりその他流動資産が23億96百万円増加する一方、売掛金が30億11百万円及び商品が15億80百万円減少したこと等によるものです。

また、固定資産が19億59百万円減少して2,173億74百万円になりました。これは、長期貸付金が8億63百万円、敷金及び保証金が6億79百万円減少したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末比94億81百万円減少して1,448億92百万円となりました。

主な要因は、流動負債が94億50百万円減少して997億74百万円になりました。これは、買掛金が186億39百万円増加する一方、短期借入金が192億30百万円、未払法人税等が38億40百万円、前受金が27億91百万円、賞与引当金が18億円減少したこと等によるものです。

また、固定負債が30百万円減少して451億18百万円になりました。これは、商品保証引当金が17億61百万円増加する一方、長期借入金が19億78百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末比52億64百万円増加して2,610億46百万円となりました。

これは、利益剰余金が131億円増加したことに加え、自己株式の取得により76億99百万円減少したこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は64.1%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末比55百万円減少して104億95百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

・営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金は、459億96百万円の収入（前年同期は208億52百万円の収入）となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益291億37百万円、減価償却費103億83百万円、仕入債務の増加額186億77百万円などで資金を得た一方、法人税等の支払額124億24百万円などを支出したこと等によるものです。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金は、82億86百万円の支出（前年同期は50億96百万円の支出）となりました。

主な要因は、貸付金の回収による収入17億60百万円などで資金を得た一方、新規出店に伴い有形固定資産の取得による支出87億69百万円などを支出したこと等によるものです。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金は、377億66百万円の支出（前年同期は113億1百万円の支出）となりました。

主な要因は、短期借入金の純減額192億円、長期借入金の返済による支出20億8百万円、自己株式の取得による支出83億17百万円、配当金の支払額67億96百万円などを支出したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期連結業績につきましては、2019年5月9日付の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました予想値に変更はございません。

※上記の予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,551	10,495
売掛金	27,986	24,974
商品	144,974	143,393
貯蔵品	107	100
その他	7,202	9,599
流動資産合計	190,822	188,564
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	101,105	99,630
土地	19,172	19,169
リース資産(純額)	13,852	14,336
建設仮勘定	1,880	3,099
その他(純額)	3,906	3,604
有形固定資産合計	139,917	139,840
無形固定資産		
のれん	36	49
リース資産	1,136	746
その他	2,225	3,023
無形固定資産合計	3,399	3,819
投資その他の資産		
投資有価証券	775	853
長期貸付金	22,461	21,598
敷金及び保証金	28,613	27,933
繰延税金資産	18,063	17,677
その他	6,127	5,664
貸倒引当金	△24	△12
投資その他の資産合計	76,017	73,715
固定資産合計	219,333	217,374
資産合計	410,156	405,939

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	46,220	64,859
短期借入金	27,478	8,248
リース債務	2,405	2,424
未払法人税等	6,923	3,083
前受金	5,577	2,786
賞与引当金	3,703	1,902
その他	16,916	16,469
流動負債合計	109,224	99,774
固定負債		
長期借入金	4,625	2,646
リース債務	20,003	20,111
商品保証引当金	11,924	13,685
資産除去債務	3,137	3,198
長期預り金	3,399	3,431
その他	2,060	2,045
固定負債合計	45,149	45,118
負債合計	154,373	144,892
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,125	18,125
資本剰余金	56,725	56,740
利益剰余金	188,496	201,597
自己株式	△8,564	△16,264
株主資本合計	254,784	260,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△82	△22
その他の包括利益累計額合計	△82	△22
新株予約権	1,080	869
純資産合計	255,782	261,046
負債純資産合計	410,156	405,939

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	521,250	547,486
売上原価	377,579	396,608
売上総利益	143,670	150,878
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	10,766	10,210
商品保証引当金繰入額	3,840	4,671
給料及び手当	33,229	34,539
賞与引当金繰入額	1,850	1,895
退職給付費用	848	857
消耗品費	2,015	2,136
減価償却費	10,488	10,193
地代家賃	20,562	20,944
租税公課	3,663	3,713
のれん償却額	20	22
その他	33,073	35,567
販売費及び一般管理費合計	120,359	124,753
営業利益	23,310	26,124
営業外収益		
仕入割引	3,480	3,047
その他	1,762	1,344
営業外収益合計	5,243	4,392
営業外費用		
支払利息	396	360
閉鎖店舗関連費用	305	420
その他	185	335
営業外費用合計	887	1,116
経常利益	27,666	29,400
特別利益		
新株予約権戻入益	177	275
固定資産売却益	150	63
特別利益合計	328	339
特別損失		
減損損失	176	148
賃貸借契約解約損	—	133
固定資産除却損	88	131
固定資産売却損	28	126
災害による損失	304	26
役員退職慰労金	354	—
その他	—	36
特別損失合計	951	602
税金等調整前四半期純利益	27,042	29,137
法人税、住民税及び事業税	8,301	8,880
法人税等調整額	82	364
法人税等合計	8,384	9,245
四半期純利益	18,658	19,892
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,658	19,892

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	18,658	19,892
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△101	60
その他の包括利益合計	△101	60
四半期包括利益	18,557	19,952
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,557	19,952

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	27,042	29,137
減価償却費	10,692	10,383
災害損失	304	26
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,800	△1,807
商品保証引当金の増減額(△は減少)	1,263	1,761
受取利息及び受取配当金	△405	△352
支払利息	396	360
固定資産売却損益(△は益)	△121	63
売上債権の増減額(△は増加)	△2,493	3,011
たな卸資産の増減額(△は増加)	△18,174	1,132
仕入債務の増減額(△は減少)	21,662	18,677
前受金の増減額(△は減少)	△2,577	△2,791
その他	△2,667	△895
小計	33,121	58,707
保険金の受取額	409	46
利息及び配当金の受取額	55	26
利息の支払額	△396	△359
法人税等の支払額	△12,336	△12,424
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,852	45,996
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,605	△8,769
有形固定資産の売却による収入	606	116
投資有価証券の取得による支出	△97	△65
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	154
貸付けによる支出	△416	△462
貸付金の回収による収入	1,772	1,760
敷金及び保証金の差入による支出	△460	△714
敷金及び保証金の回収による収入	688	949
その他	△584	△1,256
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,096	△8,286
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,700	△19,200
長期借入金の返済による支出	△2,699	△2,008
自己株式の取得による支出	△6,617	△8,317
自己株式の処分による収入	1,585	438
配当金の支払額	△7,305	△6,796
その他	△1,963	△1,882
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,301	△37,766
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,454	△55
現金及び現金同等物の期首残高	9,212	10,551
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,666	10,495

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月26日 定時株主総会	普通株式	3,415	15	2019年3月31日	2019年6月27日	利益剰余金
2019年11月8日 取締役会	普通株式	3,376	15	2019年9月30日	2019年12月4日	利益剰余金

2. 自己株式の取得

当社は、2019年8月6日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を下記のとおり決議し、当第3四半期連結累計期間において自己株式6,851,100株の取得を行いました。これを主な要因として、当第3四半期連結累計期間において自己株式が7,699百万円増加しております。

取得に係る事項の内容

- | | |
|-------------|----------------------|
| ① 取得する株式の種類 | 当社普通株式 |
| ② 取得する株式の総数 | 12,000,000株 (上限) |
| ③ 取得価額の総額 | 10,000百万円 (上限) |
| ④ 取得期間 | 2019年8月7日～2020年1月31日 |
| ⑤ 取得の方法 | 東京証券取引所における市場買付 |